

# 城西おかげめぐりマップ

バス停
 駐車場あり
 一方通行
 病院

城西まちづくり協議会 事務局 〒708-0006 津山市小田中1312-10(城西公民館内) ☎0868-31-0102

- 1** 臨済宗妙心寺派  
東海山 本源寺  
☎0868-22-7351
- 2** 浄土宗翠松樹院  
天崇山 泰安寺  
☎0868-23-8141
- 3** 日蓮宗  
長昌山 妙法寺  
☎0868-22-4337
- 4** 臨済宗妙心寺派  
法源山 宗永寺  
☎0868-22-8785
- 5** 高野山真言宗  
美作国七福神霊場  
青木山 聖徳寺  
☎0868-22-4459
- 6** 天台宗  
高德山 大圓寺  
☎0868-22-3276
- 7** 高野山真言宗  
高室山浄光院  
愛染寺  
☎0868-22-3059
- 8** 臨済宗妙心寺派  
西巖山 壽光寺  
☎0868-22-7764
- 9** 日蓮宗  
延寿山 本行寺  
☎0868-22-4753
- 10** 日蓮宗  
法光山 妙勝寺  
☎0868-23-8445



- 津山まちの駅城西(作州民芸館)**  
休館日:月曜日  
(祝日の場合は翌日)  
☎0868-24-6690
- まちの駅 城西浪漫館**  
休館日:月曜日  
(祝日の場合は翌日)  
☎0868-22-8688
- 津山城下町歴史館**  
休館日:月曜日  
(祝日の場合は翌日)  
☎0868-22-8688
- 作州絃工芸館**  
休館日:月曜日  
(祝日の場合は翌日)  
☎0868-23-0811
- かふえ花音**  
定休日:水曜日  
☎0868-35-2919
- 長乃屋**  
営業期間:10月~4月  
☎0868-22-8445
- 西今25**  
休業日:月~水曜日  
☎080-5907-1663
- 武田待喜堂**  
休業日:不定休  
☎0868-22-3676
- すぎや精肉店**  
休業日:日曜日  
☎0868-22-5427
- 割烹旅館 宇ら島**  
休業日:無休  
☎0868-22-2387
- 18 臨済宗妙心寺派 萬歳山 安國寺**  
☎0868-25-1038
- 17 高野山真言宗 薬師院長雲寺**  
☎0868-22-5036
- 16 徳守神社**  
☎0868-22-9532

- 11 曹洞宗 大道山 長安禅寺**  
☎0868-22-6878
- 12 臨済宗妙心寺派 百丈山 大雄寺**  
☎0868-22-3832
- 13 高野山真言宗 法光山 福泉寺**  
☎0868-22-5436
- 14 高野山真言宗 極楽山 光巖寺**  
☎0868-22-5435
- 15 浄土宗 転法輪山 成道寺**  
☎0868-22-3981



<p><b>① 本源寺</b></p> 臨濟宗 妙心寺派 東海山本源寺 所在地：津山市小田中1373 津山藩主：森忠政公の菩提寺 寺の名前：森忠政の戒名「本源院殿前作州太守先翁宗進大居士」から本源寺となった。 御本尊：釈迦如来右に達磨大師、左に森忠政公を祀っている。 御霊屋：森家、関家、松平家の全29基の位牌がある。 大名墓： ・晃昌院(於菊、森忠政娘) ・智勝院(於岩、森忠政妻) ・本源院(森忠政) ・雄心院(森長可、森忠政の兄) ・霊光院(森忠継、森長継の子) ・碧松院(森忠政姉・関成次母) ・光徳院(関成次・森長継父) 本源寺本堂、庫裏、霊屋、霊屋表門、中門、附棟札1枚(本堂附)は、平成25年8月7日国指定重要文化財(建造物)になった。	<p><b>② 泰安寺</b></p> 浄土宗 翠松樹院 天崇山泰安寺 所在地：津山市西寺町12 津山藩主 松平家菩提所 7代藩主松平斉孝が埋葬されたことから「津山3か寺」と言われた。御霊屋には徳川家康から8代徳川吉宗まで、初代藩主松平宜富以下9代慶倫までの位牌が祀られている。本堂前に仏足跡石がありその横に弁天堂がある。 松平初代藩主宜富、7代藩主斉孝・奥方の墓、森家2代藩主森長継の7男大吉の墓があり境内全体が津山市重要文化財となっている。 このほか江戸浅草誓願寺から多摩霊園を経て現在地に移された、宇田川家三代の墓がある。 墓碑は5基あり、槐園(玄随、震災で斜めに割れている)、榛斎(玄真)、榕菴(緑舩)、榕菴夫妻、興斎妻子の順に並んでいる。	<p><b>③ 妙法寺</b></p> 日蓮宗 長昌山妙法寺 所在地：津山市西寺町65 本堂は、正面5間、奥行き6間、高さ15mの大きさ。鬼瓦の横に承応2年(1653年)と書かれていることから完成したと年ではないかと言われている。岡山県内では、一番大きく 鐘楼とともに岡山県指定重要文化財となっている。津山市指定重要文化財の鯉口には、「慶長18年暦9月21日作州津山富川村妙法寺」と書いてあり、これが「津山」という名前を確認できる最初のものである。青銅製で面の長さ53cm重量25.5kgあり本堂に安置してある。境内墓所には、津山藩松平家絵師・狩野如林、森家刀匠・兼景、女性教育の先駆者・竹内文、津山神伝流宗師・植原六郎左衛門の墓がある。	<p><b>④ 宗永寺</b></p> 臨濟宗 妙心寺派 法源山宗永寺 所在地：津山市小田中1303-8 津山二代目藩主森長継の母(深花院)の菩提寺。寺の名前は、「深花院殿春獄宗永大姉」の「宗永」から付けられた。 ・境内の鎮守は和霊大明神で浄暗に金色の光を放ち給う観音像は一尺余り(約30cm)の木彫りの立座像である。現本堂には33体の観音菩薩が当時のまま右側に祀られている。全国的にもまれで、準国宝級と言われている。 ・深花院殿(森長継の母) ・影幻院殿(森長継公子息吉之助) ・本光院殿(森長継公息女於鍋) ・陽林院殿(森長継公子息頼母) ・清泰院殿(森長継公側室) ・梅雲院殿(森長継公側室頼母)	<p><b>⑤ 聖徳寺</b></p> 真言宗 青木山 寂靜院聖徳寺 所在地：津山市小田中1416 「美作国七福神」のはじまりの寺として市民に親しまれている。 ・境内の鎮守は和霊大明神で願い事を必ずかなえてくれると言われている。祭神は愛媛県宇和島藩の家老で山家清兵衛公頼である。公頼は租税軽減や産業振興を行い効果を上げたが、藩主は公頼を嫉妬する藩士たちを信じ殺害した。その後無実が判明し公頼を祀る神社を創建し山頼和霊神社と称した。1735年宇和島和霊神社に遷座した。 ・江戸時代前期の俳人西山宗因の句碑がある。俳号は一幽と称し、宗因は連歌名で生まれは肥後の国熊本。津山を訪れたとき聖徳寺を宿とし「津山紀行」にある俳句「月みれば今宵なりけり旅の空」の句碑がある。	<p><b>⑥ 大圓寺</b></p> 天台宗 比叡山延暦寺末 高德山大圓寺 所在地：津山市西寺町90 森家の後に、津山藩主となった松平家の祈願寺である。 大正8年(1919年)清田寂坦の開設を多くの人の呼びかけ、久原茂良医師の協力より護摩堂を診療所にして無料診療が開始された。昭和2年(1927年)「津山病院」と改名し、昭和32年(1957年)に事業が終了した。 その後、昭和32年(1957年)からは「津山広済寮」として墓所には、哲学者・出隆(いでたかし)、初代津山市長・小沼敬三郎の墓がある。	<p><b>⑦ 愛染寺</b></p> 真言宗 高室山 浄光院愛染寺 森家3代藩主 森長継公祈願所 所在地：津山市西寺町98 岡山県指定重要文化財の「鐘楼門及び仁王堂」で1644年の建造物である。仁王堂は両側に仁王像があり、二階に鐘が吊ってある。津山市指定重要文化財の金剛力士像は〔右側に阿形(あぎょう)左側が吡形(うんぎょう)で〕約185cmのヒノキの寄木造りである。像の胎内に万治元年(1658年)と墨で書かれており江戸初期の作品である。境内には明治の初めまで僧侶の研修施設である教学院(学寮)があった。赤穂義士土崎与五郎生母の墓・妹尾銀行頭取で衆議員議員妹尾順平の墓、又、津山藩家老及び豪商の墓所もある。4月中旬～5月初旬には境内の牡丹が見頃になる。	<p><b>⑧ 壽光寺</b></p> 臨濟宗 西巖山寿光寺(赤門の寺) 所在地：津山市西寺町101 津山藩初代藩主森忠政の叔父森可政により建立された。その後津山藩守代藩主松平長矩の義兄の松平綱国の祖父松平忠直を祀り菩提寺とした。その後、忠直(西巖院)と綱国の継母(寿光大師)の戒名から寿光寺となった。 境内の鐘楼(鐘は戦時供出により今なし)の北側に天神様が祀られている。お詣りすると字が上手になるといわれている。 天然痘の予防として牛痘の痘苗と接種技術が日本に伝わったときに、津山での普及には産科医の野上玄博が大きな役割を果たした。墓地には、玄博、玄雄、玄瑞たちの墓がある。	<p><b>⑨ 本行寺</b></p> 日蓮宗 延寿山 本行寺 所在地：津山市西寺町71 創立は、文明年間(1470年頃)、丹後山の麓(現林田)に建立された法華宗の寺院にさかのぼるが、森忠政の城下町づくりの一環として南新座に移り、更に、元和2年(1616年)に現在地に移った。以後寛文年間には幕府の不受不施派弾圧の為、堂宇は壊されたが、文政5年(1822年)日蓮上人が現在の本堂や庫裏を再建し、第23世日浄上人の時代には表門を再建立し、右脇に「一字一石」の宝塔を建てた。 墓地には「人間裁判」として知られる朝日茂(あさひしげる)氏の墓や昭和の「珈琲の神様」と呼ばれた襟立博保氏の墓がある。
<p><b>⑩ 妙勝寺</b></p> 日蓮宗 法光山 妙勝寺 所在地：津山市西寺町72 神戸村吉田神社の境内の金剛寺を森忠政の城下町づくりのため元和3年に現在地に移築した。備前から境橋を渡って入る法華宗の監視のため日蓮宗を並べたことから「法華通り」と呼ばれた。稲荷堂は、備中高松稲荷分社第1号と言われ、備中高松まで行かなくてもおかけを受ける事が出来る。ご祭神は白狐に乗った女神さまで右手に鎌、左手に稲穂をもっている。昭和30年墓地の南側に児童養護施設「立正青葉学園」を建て、現在も児童の保護や育成を行っている。 墓地には安岡町義信神社になった渡部藤左衛門義信の墓がある。	<p><b>⑪ 長安禅寺</b></p> 曹洞宗 大道山 長安禅寺 所在地：津山市西寺町52 正保元年(1644年)旭堂嶺朔大和尚により開かれた。安政年間美作一国の曹洞宗僧録所となる。山門額「大道透長安」は黄檗宗第5代高泉禅師の書、本堂南側に津山藩兵学指南・正木兵馬の珍しい鉄板の墓碑がある。久原家の墓は、外科手術の久原洪哉、長男で京大学長の久原躬弦(みつる)、中央公園「わんていかの像」の製作者 久原濤子が並んでいる。 本尊は楊柳観世音菩薩、守護神は火盗消除の秋葉三尺坊大権現。毎年7月20日～24日の5日間夏季暁天坐禅会、1月と8月を除く毎月第1日曜日の月例坐禅会、また学生、一般人向けの体験坐禅、企業の研修等、広く門戸を開放している。	<p><b>⑫ 大雄寺</b></p> 臨濟宗 百丈山 大雄寺 所在地：津山市西寺町40 森家の重臣原家により建立された。大雄寺には田岡嶺雲(れいうん)の逸話がある。明治29年津山中学(現在の津山高校)初代校長菊池兼二郎は、親友夏目漱石を教師に迎えたかったが松山中学に赴任が決まっていたため、漱石に匹敵する人材をと東京帝大(現東京大学)の田岡嶺雲を迎えた。嶺雲は芸者小大(おたい)と恋に落ち伏見町をしていたが、土木請負師に身請けされ、失意のまま約1年半で津山を離れた。 国道53号線改良工事で可月亭は大雄寺に移された。本堂の「百丈山」の額は書道の大家禅僧黄檗の書と言われている。	<p><b>⑬ 福泉寺</b></p> 真言宗 法光山 福泉寺 所在地：津山市西寺町46 津山築城7年後の元和9年(1623年)に城下町づくり、寺町造りの一環として建てられた。地蔵堂には、行基菩薩が造った「西向立江地蔵尊」(注・秘仏になっている)が祀られている。御本尊は薬師如来で、身と心の健康をかなえてくれるため、ご典医の信仰が高いことで有名であった。山門より正面に見えるのが地蔵堂で行基菩薩が一刀三禮して彫ったといわれている。お地蔵さまは左手に宝珠を持ち、右手に錫杖を握り、福智円満で商売繁盛、厄除消滅、運命長久、ことに子孫繁栄を待たえてくれることから繁栄の祈願所として大切にされた。	<p><b>⑭ 光厳寺</b></p> 真言宗 極楽山 光厳寺 所在地：津山市西寺町43 慶長19年(1614年)院庄にいた豪商蔵合(ぞうごう)氏により建造された。本尊は不動明王。蔵合氏は本名が山口であったが、屋号が蔵合屋と名乗っていたので2代藩主森長継から「ぞうごう」と呼ばれ、「蔵合」に改名した。豪商蔵合は酒造り、金融、船荷など手広く商売し、大年寄りを勤め、名字帯刀を許され、屋敷は二階作りが許されたことから二階町の地名が生まれたが明治になって絶えた。墓は商家としては珍しく大名級の五輪墓が5基ある。境内には岡崎造園師寄進の閻魔様の石栄を待たえてくれることから繁栄の祈願所として大切にされた。	<p><b>⑮ 成道寺</b></p> 浄土宗 転法輪山 成道寺 所在地：津山市西寺町18 森忠政が藩主として津山に入った翌年に、美濃金山から従ってきた智山により建てられた。 松平長矩が初代津山藩主となりその家臣団の重臣・安藤(後の永見)、大熊、山田、本多、小沢、渡部氏等が檀家となった。 成道寺の山門は、北条県の表門そして、鶴山高等小学校の名字帯刀を許され、屋敷は二階作りが許されたことから二階町の地名が生まれたが明治になって絶えた。墓は商家としては珍しく大名級の五輪墓が5基ある。境内には岡崎造園師寄進の閻魔様の石栄を待たえてくれることから繁栄の祈願所として大切にされた。	<p><b>⑯ 徳守神社</b></p> 津山の総鎮守・徳守神社 所在地：津山市宮脇町 当初は小田中に祀られていたという。初代藩主森忠政が築城を前に現在地に造営した。本殿は正面三間、側面三軒の中山造り、弊殿、拜殿とともに岡山県重要文化財に指定された。本殿のほか、境内には18の社があり霊験あらたかな言い伝えも多い。 同神社の御神輿(津山市有形民俗文化財)は、日本三大神輿と言われている。境内にはローラーをそのまま縦にして現、津山市の重要文化財に指定されている 墓所には、幕末期に江戸・斉藤弥九郎道場の塾頭を務め、勤王運動に活躍した井汲唯一の墓がある。 また、南新座出身の西東三鬼の句墓碑があり、「水枕がばりと寒い海がある」と刻まれている。	<p><b>⑰ 長雲寺</b></p> 真言宗 医王山薬師院 長雲寺 美作八十八ヶ所霊場第七十六番札所 所在地：津山市小田中876 寛永3年(1626年)僧円寿が廃寺の薬師堂を修復して、医王山長雲寺を起こした。明暦3年(1656年)、津山城主森長継公の娘が眼病にて参詣、祈願して無事快癒した。それより参詣祈願する人が多くあらたかな言い伝えも多い。 同神社の御神輿(津山市有形民俗文化財)は、日本三大神輿と言われている。境内にはローラーをそのまま縦にして現、津山市の重要文化財に指定されている 墓所には、幕末期に江戸・斉藤弥九郎道場の塾頭を務め、勤王運動に活躍した井汲唯一の墓がある。 また、南新座出身の西東三鬼の句墓碑があり、「水枕がばりと寒い海がある」と刻まれている。	<p><b>⑱ 安国寺</b></p> 臨濟宗 妙心寺派万歳山 安国寺 所在地：津山市小田中1203 安国寺は元禄年間に、夢堂自恒・列堂自哲によって万歳山善福寺としてつくられ、その後、安国寺の名は万愚和尚によって始められた。本堂は自己主張の強い建物で、これだけの規模を持ちながら宝形造りで一般的な仏堂のイメージは無い。部屋割りも特殊でこれが寺側の意向かは判然としないが、仏堂の中では秀逸である。 梵鐘は岡山県重要文化財に指定され、銘文によると、永和3年(1377年)に鋳物師・百済源次が多聞寺の梵鐘として製作された。追銘によると江戸時代、畑の中から発見した農民が安国寺の前身の寺院に寄進した。 また、境内裏の「石林園」は丘陵を利用した池泉鑑賞式庭園で、禅寺の素朴な趣が感じられる名園で津山市指定文化財に指定されている。境内には第35代内閣総理大臣平沼騏一郎の墓がある。